

# 新たなる連携を目指して

## —平成23年度 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会を開催—

(社) 日本学校歯科医会 常務理事 **今井健二**  
(生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進委員会 担当)



### 【連絡協議会 日程】

- 12:30 ~ 13:00 受付
- 13:00 ~ 13:30 開会式・概要説明
- 13:30 ~ 14:15 講義①
- 14:15 ~ 15:45 実践発表・質疑応答  
— 休憩 —
- 15:55 ~ 16:45 講義②
- 16:45 ~ 17:15 事業連絡・質疑応答・閉会式

平成23年6月23日(木)午後1時より、東京市ヶ谷の歯科医師会館大ホールにおいて、本年度から実施する「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」連絡協議会を開催した。本事業は昭和53年より文部省(当時)主催で実施された「むし歯予防推進指定校」に端を発し、平成19年から昨年までは日本学校歯科医会単独事業として「生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業」の名称で継続されてきた。本年度からは名称を変更し、今まで以上に全国の教育委員会、歯科医師会、学校歯科医会との連携のもとで展開し、全国の学校や地域の学校歯科保健活動の充実と活性化を期待して実施することとした。本連絡協議会は事業の趣旨や進め方について事業関係者が理解を深め、今後の事業展開に役立てていただくことを目的に開催するものであり、当日は全国52の指定校ならびに地域から129名、さらに31加盟団体から参加があった。また、今回より各地区における学校歯科保健の活性化と地域との円滑な連携を念頭に、日本学校歯科医会の7名の地区推薦理事を本事業の担当とすることとした。

開会に続き、中田郁平日本学校歯科医会会長より挨拶があり、「本事業は日本学校歯科医会の最も重要な事業として取り組んでおり、この2年間で指定校が大いなる成果を上げられ、子どもの健康づくりに活かされるよう願っております」と述べた。続いて担当役員より本事業の歴史と趣旨等についての説明が行われ、講演と実践発表に移った。

**講義①** 最初に「子どもの生活習慣と歯・口の健康づくり～「生きる力」をはぐくむために～」と題して日本学校歯科医会常務理事である赤坂守人日本大学名誉教授より講演が行われた。現代の児童生徒の健康課題は多様化し深刻化してきており、従来の疾病志向の保健活動では十分に対応できなくなってきた現状を説明され、具体的な生

活習慣の問題点をいくつか提示された。また、学校保健安全法の改正に伴う今後の学校歯科保健の課題を解説され、学校、地域、家庭および関連団体の連携と、生涯にわたる健康生活を低年齢から構築することの重要性をわかりやすく講演された。

**実践発表** 続いて、平成21・22年度の推進指定校より福岡県大野城市立御笠の森小学校の山本達也教頭と埼玉県川越市立東中学校の金子操校長が実践発表を行った。校種の違いはあるが両校とも実践に向けての組織づくりを綿密に行い、研究の方向性の決定後、学校を中心とした関連団体、地域、家庭との連携のもと取り組みを実践してきたことが発表された。続いて2校の発表者から実践を行っていく中での問題点等が報告され、この後、推進委員会委員と赤坂常務理事が加わり、それぞれの立場から効果的な取り組みに向けての指導助言が行われ、さらに参加者から事前にいただいていた質問について委員より回答が行われた。これらの具体的な報告や助言は、参加した指定校には大いに参考になったと考えられる。

**講義②** 休憩後、「学校、家庭、地域ぐるみで取り組む歯・口の健康づくりの進め方～学校保健活動のマネジメントと評価を中心に～」と題して本事業推進委員会委員長である戸田芳雄東京女子体育大学教授より講演が行われた。本事業を進めるに当たっては学校保健安全法や学習指導要領、さらに本年3月に改訂された文部科学省の学校歯科保健参考資料『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』の内容を理解し、ヘルスプロモーションの考え方に則り、学校における健康教育の基本的な進め方について理解を深め、歯・口の健康づくりを中核として学校保健活動のマネジメントと評価、さらに継続できる健康教育の取り組みの基礎づくりを目指すことの重要性をわかりやすく解説された。

続いて担当役員より事務連絡事項の報告、さらに参加者との質疑応答が行われ、最後に金森市造副会長兼専務理事より閉会の挨拶があり、連絡協議会は終了した。

午後からの限られた時間内での協議会であったが、具体的で実践的な発表や講演が行われ、また事業担当者や加盟団体の先生方からも建設的な質問が多く出され、今後の学校関係者間の連携と本事業の展開が大いに期待できると印象づけられた。